



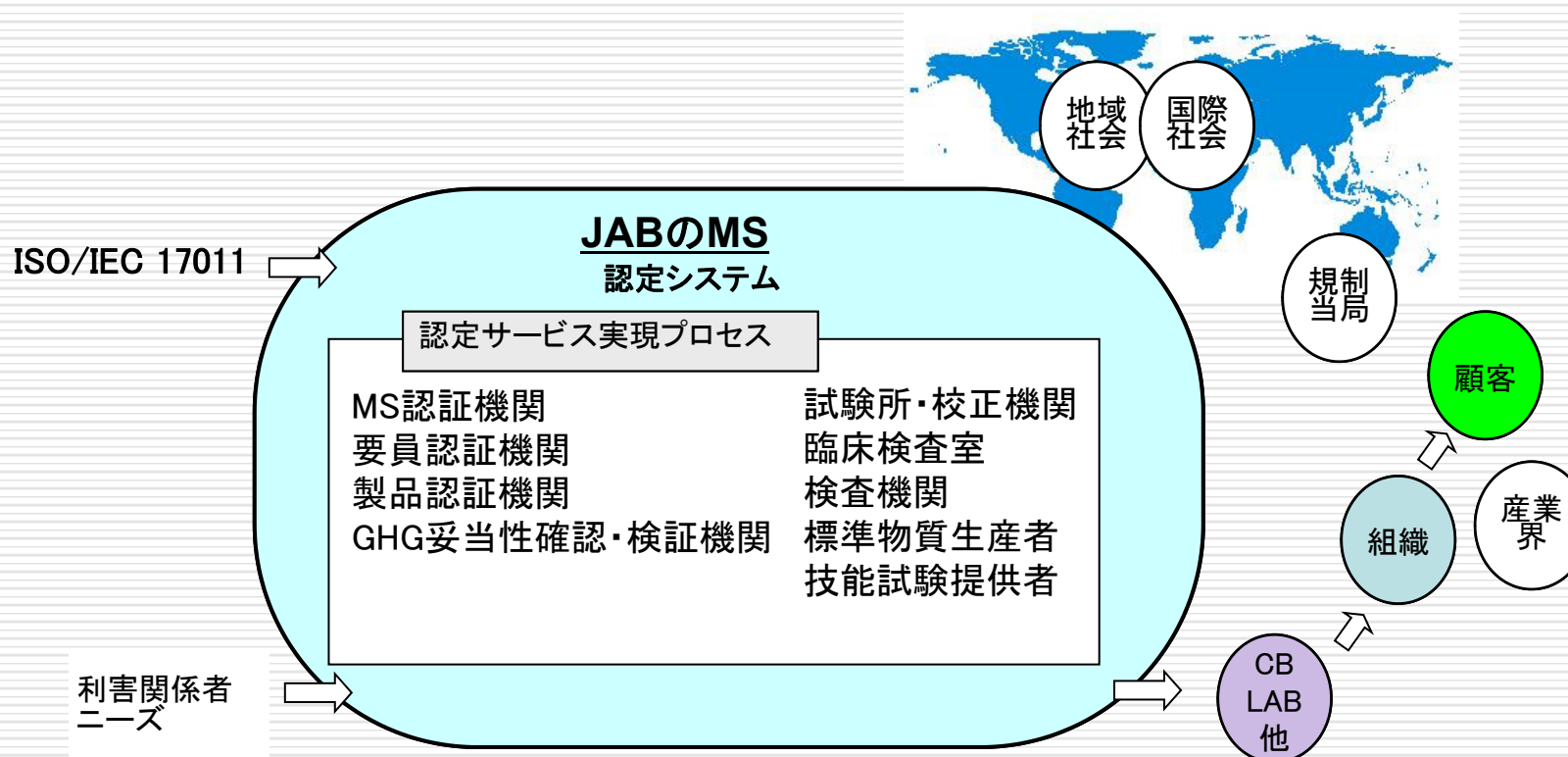
---

# JABの認定～最新情報

公益財団法人 日本適合性認定協会  
認定センター

---

# JABのマネジメントシステムと認定システム



# 適合性評価の機能とISO/IEC文書

機能 機関	校正・試験	検査	認証										
			マネジメントシステム								GHG 妥当性 確認・検証	要員	製品
			品質	環境	エネルギー	労働安全	情報セキュ リティ	食品安全	道路交通 安全	アセット			
認定機関が 満たすべき 要件			ISO/IEC 17011										
適合性評価 機関が満た すべき 要件	ISO/IEC 17025	ISO/IEC 17020	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC 17021-3	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC 17021-2	ISO 50003	ISO/IEC 17021-1	ISO/IEC 27006	ISO/TS 22003	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC TS 17021-7	ISO/IEC 17021-1 ISO/IEC TS 17021-5	ISO14065 ISO14064-3 ISO14066	ISO/IEC 17024	ISO/IEC 17065
適合性評価 の対象とな る機関が用 いる規格	各種校正・ 試験方法 規格	各種 検査方法 規格	ISO 9001	ISO 14001	ISO 50001	OHSAS 18001	ISO/IEC 27001	ISO 22000	ISO 39001	ISO 55001	ISO14064-1 ISO14064-2	各種技量 試験規格	各種製品 規格

# 認定基準類の構成

---

- 認定の基準
  - 一般基準
    - 適合性評価機関の運営に関するJIS、ISO、ガイドなどに記載されているもの(17011 7.1.1)
    - ISO/IEC 17021-1, 17024, 17065, ISO 14065など
  - 個別基準
    - 分野に特有の技術的要求事項を含む認定の要求事項(17011 7.1.2 b)
    - ISO/IEC 17021-2,3, ISO 22003, 50003など
- 認定の手順
  - MS/PN/PD/GR 200
  - 特定の分野に対する補足手順
- 認定の規則
  - N401: 認定に関する料金規定
  - N410: 認定シンボル使用規則

# IAF/PAC文書

---

- IAF/PACが、認定・認証スキームの一貫した実施のために発行する文書
- 基準文書(mandatory document)及び参考文書(informative document)
- JABは、内容を変更することなく翻訳し、JAB文書として発行する。あるいは内容を変更することなく、JAB手順に取り込み、参考訳を発行する。

IAF: International Accreditation Forum, Inc.  
PAC: Pacific Accreditation Cooperation

---



# マネジメントシステム認証機関の認定

マネジメントシステムの種類及び規格		分野固有の認定基準	認定数
品質	QMS: ISO (JIS Q) 9001	ISO/IEC TS 17021-3	41
	航空宇宙QMS: JIS Q 9100	JAB MS101	6
	電気通信QMS: TL 9000	JAB MS102	1
	医療機器QMS: ISO (JIS Q) 13485	IAF MD 9	4
環境	EMS: ISO (JIS Q) 14001	ISO/IEC TS 17021-2	40
エネルギー	EnMS: ISO (JIS Q) 50001	ISO 50003	2
情報セキュリティ	ISMS: ISO/IEC (JIS Q) 27001	ISO/IEC 27006	1
ITサービス	ITSMS: ISO/IEC (JIS Q) 20000-1	IAF MD 18	-
労働安全衛生	OHSMS: OHSMS 18001	JAB MS103	-
食品安全	FSMS: ISO 22000	ISO/TS 22003	11
	FSSC22000: ISO 22000及び分野別要求事項	FSSC 22000 Part II	9
	JFS-C: JFS-E-C規格	JFS-C認証スキーム文書	(審査中)
道路交通安全	RTSMS: ISO 39001	ISO/IEC TS 17021-7	-
	N-RTSMS: ISO 39001及びN-RTSMS要求事項	N-RTSMS要求事項	-
アセット	AMS: ISO 55001	ISO/IEC TS 17021-5	1

# 要員認証機関の認定

要員認証の種類と規格		認定数
マネジメント システム 審査員	品質マネジメントシステム審査員: ISO (JIS Q)19011	1
	環境マネジメントシステム審査員: ISO (JIS Q)19011	1
	情報セキュリティマネジメントシステム審査員: ISO (JIS Q)19011, ISO/IEC (JIS Q) 27006	-
	食品安全マネジメントシステム審査員: ISO (JIS Q)19011, ISO/TS 22003	1
技術者 / 技能者	鉄筋ガス圧接部超音波探傷検査技術者: JIS Z 3062	-
	溶接管理技術者: ISO (JIS Z) 14731	1
	溶接技能者: JIS Z 3801, 3805, 3821, 3831, 3841, 3891	1
	手動/自動ガス圧接技量者: JIS Z 3881	-
	ガス圧接熱間押抜技量者: JIS Z 3881	-

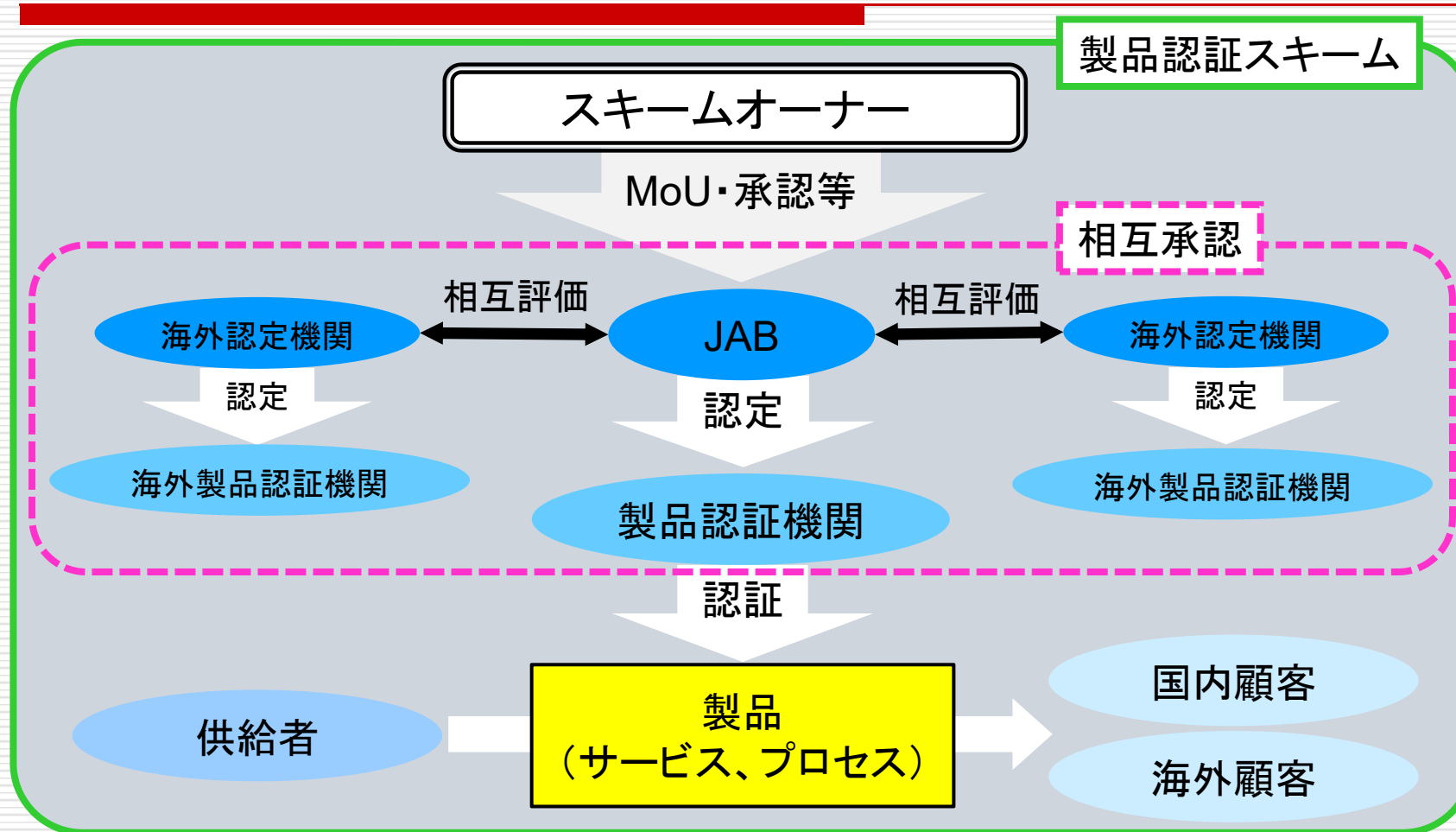
# 製品認証機関の認定

製品認証の種類	認定数
自家発電装置	1
抗菌防臭加工繊維製品	1
電気工作物の溶接	1 (初回審査中:1)
マーケットリサーチに関わるサービス	1
風力発電システム	1
セキュア制御製品及び開発ライフサイクル・プロセス	1
森林・林業及び森林生産物	3
GAP及びGAP運用農場で生産された農作物	— (初回審査中:3)



# 製品認証機関の認定

～スキームオーナーによる認定の活用～



# 製品認証機関の認定

## ～スキームオーナーによる認定の活用～

- GAP及びGAP運用農場で生産された農作物の認定 (2015年6月～)
  - 認証対象: 食品安全、環境保全、労働安全が確保された管理がなされている農場の生産プロセス及びそこから収穫される農産物
  - 日本のローカルスキームとしてJGAP、国際的に展開しているスキームとしてGLOBALG.A.Pの認定。特に、JGAPは国際展開を進めるためJABの認定を活用。
  
- 森林・林業及び森林生産物の認定 (2014年7月～)
  - 認証対象: 持続可能な管理がなされている森林及びそこから産出される林産物
  - 日本のローカルスキームとしてSGEC、国際的に展開しているスキームとしてPEFCの認定。PEFCはIAFの認定・認証制度を活用してスキームを運用。SGECはJABの認定の活用により、2016年PEFCとの相互承認を実現。

SGEC: Sustainable Green Ecosystem Council (緑の循環認証会議)

PEFC: Programme for the Endorsement of Forest Certification schemes

# 製品認証機関の認定

～スキームオーナーによる認定の活用～

- セキュア制御製品及び開発ライフサイクル・プロセスの認定 (2013年9月～)
  - 認証対象: 産業オートメーション及び制御システムの組込み機器(PLC)、制御システム、それらの開発プロセス。
  - スキームオーナーはISCI。日本のプラントや工場のサイバーセキュリティを確保するとともに、日本製制御機器の国際競争力確保のため、JABの認定が活用されている。
  
- 風力発電システムの認定 (2012年2月～)
  - 認証対象: 小形・大型風車型式、大型風車プロトタイプ、大型風車部品、小形又は大型風車で構成されるウィンドファーム
  - IECは2014年にIECREを設立。IECRE は参加する風車認証機関と風車試験機関間の認証・試験の同等性確保のため、相互評価を実施する。なお、参加資格はIAF相互承認メンバーによる認定。

IECRE: IEC System for Certification to Standards Relating to Equipment  
for Use in Renewable Energy Applications (再生可能エネルギー認証システム)  
ISCI: ISA Security Compliance Institute

# GHG妥当性確認・検証機関の認定

GHG妥当性確認・検証の種類と規格		認定数
組織検証	ISO (JIS Q) 14064-1	10
プロジェクト妥当性確認	ISO (JIS Q) 14064-2	7
プロジェクト検証	ISO (JIS Q) 14064-2	7

# 認定活動(2016年1月～12月)

---

## □ マネジメントシステム

- サーベイランス:24件
- 更新審査:14件
- 拡大審査:7件
- 移行審査:
  - 17021-1:23機関実施
  - 9001/14001:30機関実施
  - 22003:6機関実施
  - 50003:1機関実施
- EnMSの取消し(取下げ):2機関

## □ 要員

- 更新審査:2件

## □ 製品

- 初回審査:3件
- サーベイランス:5件
- 更新審査:3件

## □ GHG

- サーベイランス:5件
- 更新審査:6件
- 認定の取消し(取下げ):3機関

---

審査数は事務所審査実施に基づきカウント

# 認定/認証基準類の制・改定

---

## <マネジメントシステム認証機関に対する認定基準①>

- ISO/IEC 17021-2:2016
  - 2016年12月1日発行
  - JIS:2017年内発行?
  - 認定の移行:ISO/IEC 17021-2:2016発行から2年
  
- ISO/IEC 17021-3:201x
  - 2017年1月末~2月発行?
  - JIS:2017年内発行?
  - 認定の移行:ISO/IEC 17021-3:2016発行から2年の見込み(未定)
  
- ISO/IEC TS 17021-10:201x
  - 労働安全衛生マネジメントシステムの審査及び認証に関する力量要求事項
  - ISO 45001の発行の遅れを受けて、発行時期を再検討中

# 認定/認証基準類の制・改定

---

## ＜マネジメントシステム認証機関に対する認定基準②＞

- JFS-C認証スキーム文書 Ver.1
  - 2016年7月26日発行
  - GFSIガイダンスドキュメント(バージョン6.4:2015)の要求事項をほぼそのまま採用[Ver.7(案)の先取り事項あり]
  - 「スキームオーナーに関する規則」、「認定機関に関する要求事項」、「認証機関に関する要求事項」で構成
  - 食品安全マネジメントシステム JFS-C認証:
    - 日本発の食品安全マネジメントシステム認証スキーム
    - 一般財団法人 日本食品安全マネジメント協会(JFSM)がスキームオーナー
    - 認定申請受付開始:2016年8月15日

# 認定/認証基準類の制・改定

---

## ＜マネジメントシステム認証機関に対する認定基準③＞

- JAB MS307:2016 (IAF MD19)
  - 複数サイトの組織(サイトのサンプリングの適用が適切でない組織)が運用するマネジメントシステムの審査及び認証についての基準
  - 発行:2016年7月20日
  - 適用:2018年3月31日
    - IAF MD1との合体文書作成中の都合上、適用が1年延期となった
  
- IAF MD2 (JAB MS302) 改定
  - 認定されたマネジメントシステム認証の移転についての基準
  - これまでの運用から出てきた問題への対応、不明瞭だった部分の明確化をポイントにIAFで改定作業中
  - 2017年夏に改定発行予定



# 認定/認証基準類の制・改定

---

## <マネジメントシステム認証規格①>

- ISO 9001/14001:2015(QMS、EMS)
  - 2015年9月15日発行、2018年9月14日までに移行
  
- ISO 13485:2016(MD-QMS)
  - 2016年3月1日発行、2019年2月28日までに移行
  
- TL9000:2016 R6.0(TL-QMS)
  - 2016年9月15日発行、2018年9月15日までに移行
  
- JIS Q 9100:2016(AS-QMS)
  - 2016年9月20日発行、2018年9月15日までに移行

# 認定/認証基準類の制・改定

---

## <マネジメントシステム認証規格②>

- ISO 22000改定(FSMS)
    - CD2(改訂版CD)段階(2017年1月)
    - 2017年5月:DIS、2018年3月:FDIS、2018年7月:IS発行?
  
  - FSSC 22000 Ver.4.0
    - 2017年1月発行(2018年1月1日適用)
  
  - JFS-E-C規格
    - 食品安全マネジメントシステムの製造セクターの規格
    - JFS-E-C: 2016年7月26日発行
- CD: Committee Draft  
DIS: Draft International Standard  
FDIS: Final Draft International Standard

# 認定/認証基準類の制・改定

---

## <マネジメントシステム認証規格③>

- ISO 45001
  - 労働安全衛生マネジメントシステム-要求事項及び利用の手引
  - DIS2(改訂版DIS)投票:2017年4~5月
  - DIS2承認後:
    - FDISスキップの場合 →発行予定:2017年10~11月
    - FDIS作成の場合 →発行予定:2018年3月頃
  - OHSAS18001からISO 45001への認定を受けた認証の移行
    - ISO 45001発行から3年

DIS: Draft International Standard  
FDIS: Final Draft International Standard

# 認定手順の主な改定/改定予定事項

---

- MS200(マネジメントシステム)
  - 認定分野拡大(JFS-C認証スキーム)(2016年7月)
  - 認定されたMS認証文書への認定シンボルの表示(2017年3月予定)
  - IAF MD17(JAB NS508)への対応(2017年11月~予定)
  
- PD200(製品)
  - 風力発電システム、GAPの認定範囲分類の見直し(2016年12月)
  - 認定範囲分類の拡大(GAP:畜産)(2017年6~9月)

# JABのマネジメントシステムと認定システム

---

- ISO/IEC 17011改定
  - 適合性評価機関の認定を行う機関に対する一般要求事項
  - 2014年10月改定開始
  - DIS投票完了:2016年11月15日 → FDIS ??
  - 2017年秋までには発行の見込み
  - 主な改定:
    - 適用範囲に技能試験提供者、標準物質提供者、GHG妥当性確認/検証機関を含める
    - ISO/CASCO 文書の共通構造を適用する
    - ISO PAS 17000シリーズに基づく共通の要求事項を適用する
    - ICTツールによる遠隔審査を活用する

# 今後のJABの予定

時期	内容
2017年秋頃？	ISO/IEC 17011改定発行
2017年11月	PACによる相互評価(Peer Evaluation)を受審要員へのMLA拡大を予定
2018年1月	IAF MD17(JAB NS508)適用開始 組織審査立会の分離を予定
2018年3月	IAF MD19(JAB MS307)適用開始 (サンプリングなし複数サイト)